

マルチアクア据付説明書

型式：KMA02-320-1500

KMA02-320-2000

（ 高圧フットポンプ ）



aqua reserve

この度は、弊社の製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。この据付説明書は、工事作業者が正しく、安全な工事を行うために必要な説明書です。工事開始前に必ずお読みください。

- 1.本書の記載事項に従って工事が行われなかったことが原因で生じた故障、事故などは保証期間内での無償修理の対象になりません。
- 2.保証書は、販売店、設置日などが記入されていることを確認し、大切に保管してください。紛失してしまうと、保証期間内であっても無効となることがあります。
- 3.指定給水装置工事事業者が施工を行ってください。

株式会社アクアリザーブ

目次

1. 安全に設置工事を行うために注意していただくこと	1
2. システム全体図	1
3. 運搬・保管	2
4. 仕様	2
5. その他オプション品	4
6. マルチアクアの据付	4
1) 貯水部	4
2) 加圧ユニット（高圧フットポンプ・エアーホース）	7
7. 試運転	9
8. 保証について	10

1. 安全に設置工事を行うために注意していただくこと

● 注意とは…

設置作業中、または使用者が誤った使い方をすると軽症を負う可能性、または製品・家屋等の物損事故を引き起こす可能性が想定できる注意内容です。

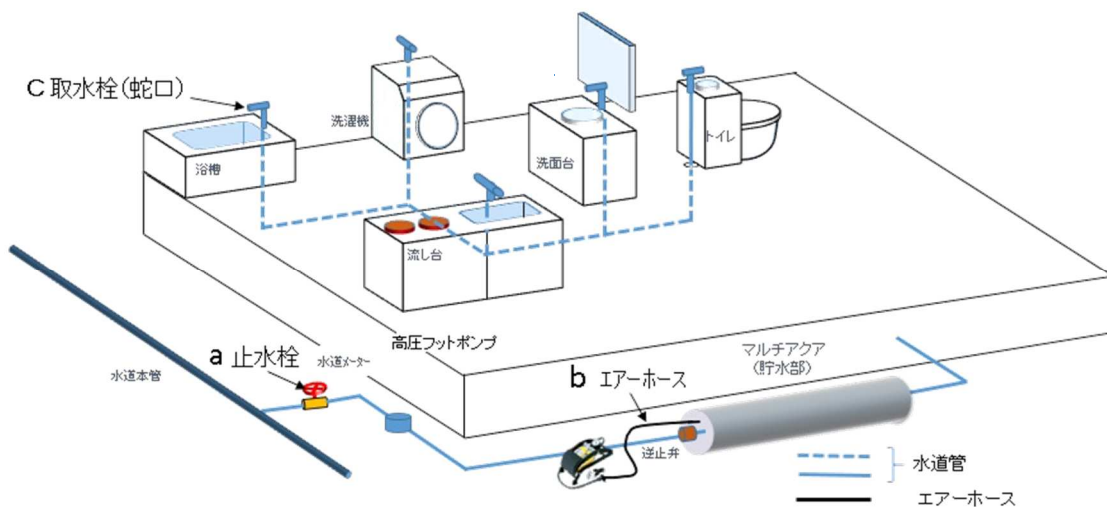


注意 CAUTION

高圧フットポンプ

- 足踏みペダルの留め金具を外す時は、ペダルが跳ね上がりますので、顔などを近づけないでください。
- 可動部に手や足を入れないでください。
- ご使用前に、必ずシリンダーキャップが外れたり緩んだりしていないか確認してください。
- 直射日光が当たる場所、湿気やホコリの多い場所などでは保管しないでください。
- 周りに障害物等がない場所で使用してください。
- 平らな床面上で使用してください。
- 無理な体勢でペダルを踏まないでください。
- 分解・改造して使用しないでください。

2. システム全体図



システム全体図

3. 運搬・保管

- 本製品は、衝撃を与えると内部の部材が損傷する可能性がありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 本製品は重量物ですので、トラックの積み降ろしは、腰などを痛めないように、複数人、または適切な機材を使用して行ってください。
- 本製品の表面はステンレスの管で構成されているため、たいへん滑りやすくなっています。滑り止め付きの手袋を着用して取り扱いをしてください。
- 本製品上に、絶対に乗らないでください。
- 保管は、水に濡れない屋内で保管してください。

4. 仕様

1) 貯水部

- 直 径：320mm
- 全 長：1500mm ， 2000mm
- 重 量：1500mm 49.2 kg ， 2000mm 59.8 kg（乾燥重量）
- 貯水量：1500mm 約 90L ， 2000mm 約 120L
- 貯水部材質：SUS304、塩化ビニール、専用チューブの三層構造
- 耐水圧：1.75Mpa（公益社団法人日本水道協会 指定耐水圧）
- 配管接続口径：20A Rネジ または 25A Rネジ
- エアーホース接続口径：外径 6mm

※ 貯水部からの取水用として標準付属品（別売り）が必要になります。



2) 標準付属品 (別売り)

● 高圧フットポンプ (構成)



- 口金エア継手キャップ付 (1 個) (高圧フットポンプ用, 写真①)
- リリーフ弁 (1 個) 作動圧力値 0.185~0.199Mpa (写真②)
- 圧空用ホース継手 (1 個) 貯水部接続用 (写真③)
- 6φエアホース (5m, 写真①)
- フィッティングプラグ (1 個) (写真④)



① エアホース、口金エア継手、キャップ



② リリーフ弁



③ 圧空用ホース継手



④ フィッティングプラグ

5. その他オプション品（別売り）

- 逆止弁（1 個）（写真⑤）
- ニップル 20A（1 個）（写真⑥）
- 屋外用カバー（1 枚）（写真⑦）

※屋外へ設置する場合は、屋外用カバーを必ず取り付けてください。



⑤ 逆止弁



⑥ ニップル



⑦ 屋外用カバー

6. マルチアクアの据付

はじめに

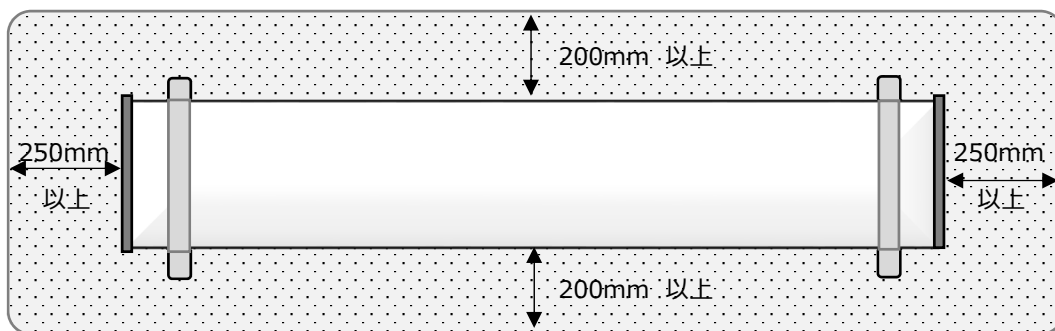
- 本システムは、戸建住宅用の貯水システムです。
- 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 井水・雨水等の使用は前提としておりません。
- 本製品は、住宅用で横置き 1 台での屋外設置が前提となります。

1) 貯水部

(1) 据付場所の選定

本製品は、以下の注意点に従い、横置きで設置してください。

- 水道工事およびその付帯工事、保守が出来る場所。
- 貯水部は、量水器の二次側に設置すること。
- 貯水部は、一次側に水栓を設けないこと。
- 平坦な場所で、アンカーボルトが設置できるコンクリート床面または、ボルトが設置できる鋼板床面。
- 水溜りが出来ない場所。
- 堅固なコンクリート敷き床面または鋼板床。(耐荷重： > 約 1 トン/m²)
- 製品の据付場所には、次ページに示したスペースを確保すること。



マルチアクア設置スペース図

- 床下設置を検討する場合は、製品の取り出しスペース確保のために、別途工事を伴わず、製品が取り出せる場所。
- 製品の真上に以下の条件を満たす製品取り出し口があること。
 - ・全長 製品長 + 300 mm
 - ・全幅 580 mm

以下の場所には設置しないでください

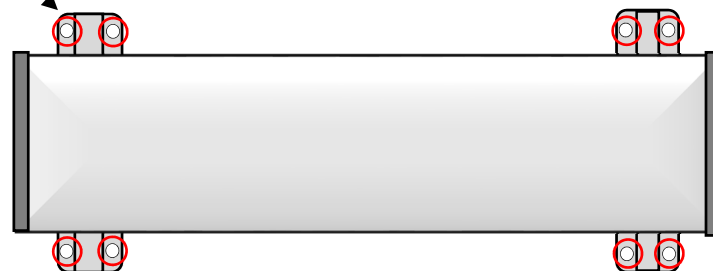
- 水道水が凍結する場所（保温材による凍結防止は、要相談）
- 凸凹のある場所
- 傾斜勾配のある場所
- 塩害（海水）の影響を受けやすい場所（金属部品の腐食が激しい場所）：要相談

(2) 据付手順

- ① 水道管の止水栓（元栓）を閉じてください。
- ② 貯水部を設置場所に設置してください。（設置の際は、衝撃を与えないように丁寧な取り扱いをしてください。）
- ③ 貯水部の固定用として、コンクリート床にはアンカーボルト、鋼板床の場合はボルトを据付工事業者様にてご用意ください。
 - ・アンカーボルト： M10 × 70~80mm（全長）
 - ・ボルト： M10 × 鋼板の厚みにあった長さ
- ④ 貯水部の固定用金具に穴が4箇所あります。必ず両サイド1本ずつアンカーボルト又はボルトにて、本体を固定してください。

アンカーボルト・M10ボルト取り付け位置（貯水部を上方から見た図）

○の箇所がアンカーボルトまたはM10ボルト取り付け穴です。



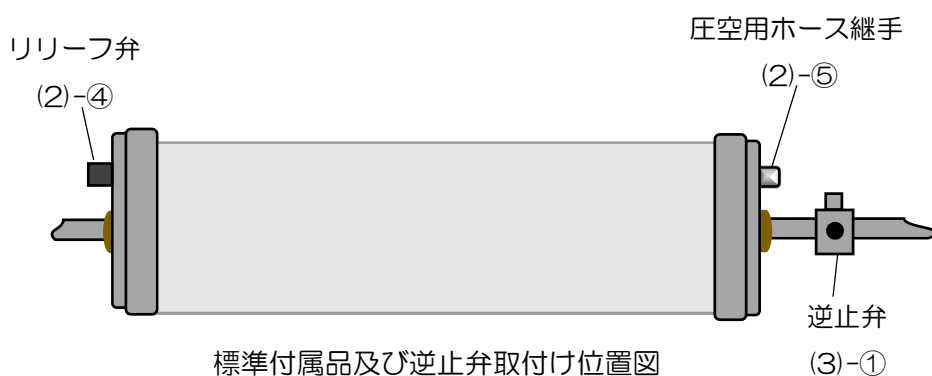
④ リリーフ弁（標準付属品 P3 写真②参照）

出口側の黄色、または白色ポリ栓(小)を外して、付属部品のリリーフ弁を 3/8 のネジ穴に取り付けてください。取り付け時の締め付けトルクは、12.5~14.5N・m の範囲で締め付けてください。また、シールテープ、シール材は、先端から 1.5~2 山残して巻く、または塗布してください。

⑤ 圧空用ホース継手（標準付属品 P3 写真③参照）

入口側の青色ポリ栓(小)を外して、付属部品の圧空用ホース継手を 3/8 の穴に取り付けてください。取り付け時の締め付けトルクは、15~20N・m の範囲で締め付けてください。また、シールテープ、シール材は、先端から 1.5~2 山残して巻く、または塗布してください。

※「標準付属品及び逆止弁取付け位置図」にてリリーフ弁・圧空用ホース継手の場所を確認してください。



(3) 水道配管について

① 逆止弁（オプション部品）

貯水部入口の直近に、日本水道協会認証品の逆止弁を必ず設置してください。

（逆止弁が設置されていないと、断水時に加圧ユニットによる取水が出来ません。）

※「標準付属品及び逆止弁取付け位置図」にて逆止弁の場所を確認してください。

② 既設水道配管が鋼管等の腐食性のある配管をお使いの場合は、錆などの異物が貯水部に入り込むと正常に機能しない場合がありますので、必ず、ストレーナー付逆止弁もしくは逆止弁とストレーナーをセットで取り付けてください。

③ 水道配管への取り付け前に、切削油、切粉、異物をきれいに取り除いてから水道管へ接続してください。

④ 貯水部の出入口のネジ径は 20A 又は 25A になっていますが、接続する水道配管径が異なる場合は、異径のブッシングをご使用ください。（締め付けトルク 70N・m）

⑤ 水道配管に金属配管を使用する場合は、必ず耐震対策として、伸縮可とう管（フレキシブル等）を使用してください。

⑥ 水道配管の取り付け後は、必ず、締め忘れがないか確認してください。

※配管、弁等の接続方法、締め込みトルクは使用する部品メーカーの基準に従って施工してください。

据付で注意してもらいたいこと

- 水道配管取り付け時は、ネジ部の損傷が無いようにしてください。
- 貯水部は、分解しないでください。
- 貯水部には、出入口の指定がありますので、正しい向きで設置してください。
(入口側：青色シール 出口側：黄色シール)
- 本体と接続ネジ部には、温度、流体に適したシール材を使用してください。
- 貯水部出入口（インナースリーブ真鍮）と、水道配管継手の締め込み時は、必ずサイズの合ったスパナ等の適切な工具を使用してください。パイプレンチを使用し、締め込んだり、緩めたりは絶対にしないでください。



インナースリーブ（真鍮）

2) 加圧ユニット（高圧フットポンプ・エアース）

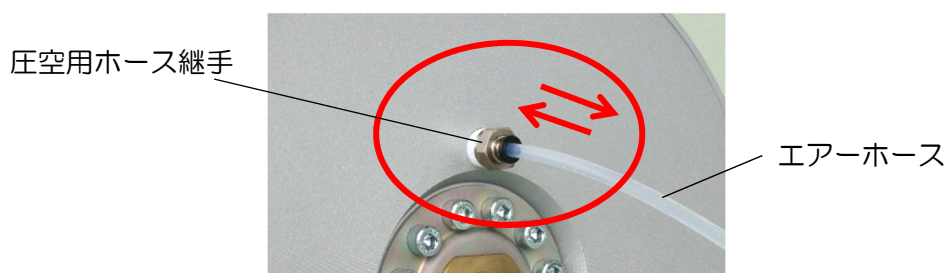
(1) 高圧フットポンプの使用場所の選定とエアースの取り回し

高圧フットポンプの使用場所とエアースの取り回しは、以下の注意点に則り、お客様と協議のうえ、選定してください。

- 操作しやすい場所（推奨）。
(例：高圧フットポンプが容易に操作できる場所、明るい場所等)
- 直射日光のあたらない場所。
- エアース取り回し近辺に、熱発生源がない場所。
(エアースは熱によって変形、収縮が発生するため)
- エアースに、折れ・つぶれ・擦れの可能性がない場所。

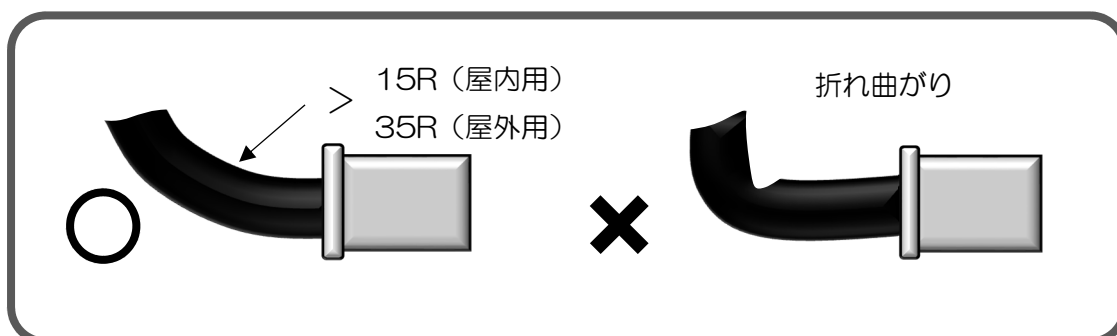
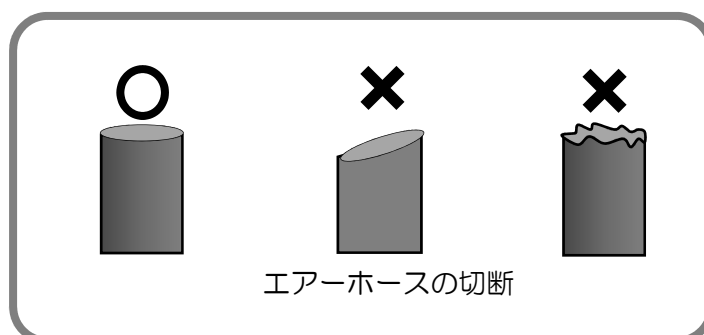
(2) エアーホースの接続（標準付属品：5m）

口金エアー継手が装着されていない側のエアーホースの先端を、P6「標準付属品及び逆止弁取付け位置図」(2) - ⑤ の圧空用ホース継手にしっかり差し込んで接続してください。



貯水部のエアーホース

- ※ 差し込み後、エアーホースを軽く引っ張って、抜けなければ正しい差し込みです。
- ※ エアーホースは最小曲げ半径が屋内用 15mm、屋外用 35mmです。エアーホースを長さ調整で切断するときには、必ずエアーホース専用カッターを使用して、目視でまっすぐ（垂直）に切断してください。切断するときには、ニッパー・ペンチなどを使用しないでください。また、チューブ内に異物などが入らないように注意してください。



7. 試運転

エア抜き（貯水部）

貯水部に水道水を注入すると、貯水部の専用チューブ内にエア（空気）溜まりが発生します。エア溜まりを除去しないと、貯水部の専用チューブ内にエア溜まりが残ったままになってしまい、取水流量が不安定になる、または水道水の水質が劣化する可能性があります。エア抜きは下記の手順で行います。この作業は、必ず、水道局の指定給水装置工事事業者の立会いのもとで行ってください。

- ① 止水栓（元栓）が閉まっている場合、止水栓（元栓）を開きます。

（参考写真① 赤丸を参照）

（参考写真①）



- ② すべての取水栓（蛇口等）が閉まっていることを確認してください。
- ③ 取水栓（蛇口等）を開きます。（お風呂をお勧めします。）
- ④ しばらくすると、③で開いた取水栓（蛇口等）からエアを含んだ水道水がでます。
※エアを含んだ水道水の特徴は、ゴッゴッゴッと音が出て、水道水もその音に合わせて水量が変化します。
- ⑤ エア抜きが終わると、エアを含まない安定した水道水になります。
- ⑥ エアを含まない安定した水道水になってから、しばらく流水します。（約 10 分程度）
- ⑦ ③で開いた取水栓（蛇口等）を閉じます。
- ⑧ 再度、取水栓（蛇口等）を開いて安定した流水が出ることを確認してください。流水が安定しない場合は、エア抜きが適切に行われていない可能性がありますので、以下の点を確認してください。

- 貯水部本体から、エアホース（口金エア継手付）を取り外してある。
- 取水栓（蛇口等）が十分に開いている。

上記確認後、水量が不安定な場合は販売店、または弊社までご連絡ください。

- ⑨ エア抜き終了後、貯水部本体にエアホースを接続しない場合は、貯水部の圧空用ホース継手にフィッティングプラグを差し込んでください。（P3 写真③参照）貯水部本体から取り外したエアホース等は、高圧フットポンプと一緒に、直射日光の当たらない、湿気やホコリの少ない場所で保管してください。
- ⑩ エア抜き終了後、通常通りに水道水が使用できます。
※水道水の流量によって、エア抜き時間に多少の変動があります。

8. 保証について

- 保証書の記載内容を確認してください。
- 保証書には設置日、販売店名など所定の事項の記入がないと無効となります。
- 保証期間内であっても、据付説明書等が遵守されなかった施工に起因する不具合は保証の対象外となります。
- 万が一故障が発生した場合、保証書内容に該当する故障内容であれば、無償交換・修理の対象となります。
- 保証期間は、マルチアクア本体は5年、高圧フットポンプは1年です。

お問合せ先

株式会社アクアリザーブ

〒111-0051 東京都台東区蔵前1-5-1

TEL 03-5822-5310 FAX 03-5822-5355